



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO.23
(通巻154号)
平成30年(2018)
1月15日(月)

『独りで、旅に出なさい。』

校長 飯野 博史

二十歳、成人おめでとう。
今日から大人と呼ばれても、ピンとは来ないだろう。私もそうだった。
今、君は自分がどんな大人になるのか想像もつかないだろう。どうしたら君の、自分なりの大人の姿が見えるだろうか？
そのためには、いろんなものを自分の目で見て、さまざまな人と出逢うことだ。
私の提案は、旅だ。それも若い時に、独りで旅に出ることだ。日本でも、海外でもかまわない。一番安いチケットを買いなさい。金があれば、君の足で歩き出せ。自分の足で見知らぬ土地を歩き、自分の目で、手で、肌で世界に触れることだ。どんな人がどんなふうに生きているかを見ることだ。
インターネット、テレビ、新聞、書物で知る世界とは全く違う世界だ。
世界は君が考えているより広く、大きく、豊かで、また切なく、貧しくもある。
独り旅はまず、自分がまだ何物でもないことを教えてくれる。自分の力で歩くことが、人生の、生きる基本ということを学ぶだろう。
若い時になぜ旅が必要か？ それは若い新鮮な目にしか見えないものが、今の純粋なところでしか獲得できないものが、間違いないからだ。
旅に疲れたら、夕空を、星を仰いで一杯やればいい。
苦くて、美味しい、旅の酒の味は、生涯の宝になるはずだ。
二十歳の旅人に、乾杯。

寒さが本格的となりました。「春遠からじ」…やがて来る春に備えて、しっかりと力を蓄えていきましょう。いよいよ3年生は高校入試が始まりました。今までの努力に自信をもって取り組んでください。2年生は来週からの職場体験に向けて準備を進めています。体験中の八中生を見かけたら声を掛けてみてください。1年生とE組は校外学習の事前学習に取り組めます。学年のまとめの行事として成功させるよう指導していきます。

「成人の日」の新聞に作家・伊集院静さんによる、新成人へのメッセージが掲載されました。ある飲料メーカーの広告ですが、毎年楽しみにしています。若者に自分の目で見て、手や肌で触れて、考え感じることの大切さを説いています。中学生の成長にも様々な体験が欠かせません。一人旅は少し無理にしても、豊かな体験をさせていしましょう。純粋な心に、感じることを考えることが必ずあるはずです。

◎生徒の活躍

- ・平成29年度 東京都教育委員会 防災標語コンクール
優秀作品 ○○○○くん 「“防災”は『準備』『連絡』『思いやり』」
- ・1円玉募金運動
目黒区保護司会から八中生徒会に「感謝状」をいただきました。
- ・第41回リバーサイドカップ 12/26
準優勝 女子バスケットボール部

■第9回中学生「東京駅伝」大会のお知らせ

2月4日（日）第9回中学生「東京駅伝」大会が味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園で開催されます。都内各地区代表の2年生が早春の武蔵野を走ります。

目黒区代表チームも結成され、毎週土曜日に練習に励んでいます。

八中からは女子4人が参加する予定です。

○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん

- ・女子の部スタート 午前10時
30km【第1区～第10区 1.5km】【第11区～第16区 2.5km】
 - ・男子の部スタート 午後1時
42.195km【第1区 2.195km】【第2区～第9区 2km】【第10区～第17区 3km】
- 応援よろしくお願いいたします。

■70周年記念人権特別講演会 講師：杉山文野さん 12/14（木）

「もっと知りたいLGBT ～性の多様性と人権～」感想文

杉山文野さんを講師にお招きし、お話をうかがいました。ご自身の体験を織り交ぜながらのお話は生徒たちの胸に直接響くものがあったようです。LGBTや性の多様性についての理解が深まりました。生徒たちの感想文には、互いの違いを認め合って生活していくことの大切さを綴ったものがたくさんありました。紹介します。

- ・LGBTについて少しは知っていましたが、自分の普段の生活とは遠いものだと思い込んでいました。しかし、今回杉山さんのお話を聞いて、LGBTの人は見えていないだけで決して遠い存在ではないこと、多様な性のあり方があることを知りました。同時に間違った理解が人権問題につながってしまうことを知り、自分が今できること、伝えられることを周囲の人にも知ってもらいたいと強く思いました。
- ・ゲイやレズビアンはネタとして扱われることが多く、少し肩を組んだりすると「気持ち悪い」とか「あいつホモなんじゃないの」など、どこか異質な存在として見られています。テレビで海外の同性婚などについて取り上げられているのを見ると、家族はどこか冷たい目をしているようでした。今回、私が思ったのは、みな同じ人間なのだから受け入れるべきということです。しかし「自分とは違う存在」というのは不安を感じてしまうので、その不安をどうやったら失くしていけるのかが大切だと思いました。すべての人が幸せになれるよう、一人一人が尽くしていきたいです。
- ・今回の講演では、今まで知らなかったこと、驚いたことがたくさんありました。LGBTについては社会や制度のことを考えてしまいがちですが、もっと自分たちの身近な話であるということに気付かされました。LGBTのことだけでなく、生き方についても学ぶところが多くあり、どこへ行っても自分からは逃げられない、どの道でもそこでどのように生きるかが大事、というお話が印象的でした、まずは自分のことから、さらに身近な周りのことから始めようと思います。
- ・私はあまりLGBTのことを知らなかったなので、お話を聞くことができてよかったです。差別はよくないと改めて学びました。私は、普通の人という人はいないと思います。中学生や高校生で自殺で亡くなってしまう人がいます。そういう人たちをなくすためにも差別をなくして、みな平等という世界をつくりあげたいです。そしてLGBTの人たちと少しでもかかわって仲良くしたいなと思いました。